

## 平成30年6月18日に発生した「大阪府北部地震」による災害事例（第三次産業）

## 災害事例（火傷）休業4日以上

- ・惣菜作業場でフライ作業中に地震の揺れで油がはね左手首から肘にかかり火傷した。（大阪市・スーパー）
- ・デリカ作業場のフライヤーで作業中、地震が発生し、油が飛び左手甲から肘にかけて火傷した。（茨木市・スーパー）
- ・惣菜加工場内フライヤー前にて揚げ物加工中、地震により、フライヤーの前で転倒し、フライヤーからあふれた油が足から背中にかけてかかり、ふくらはぎと足首を火傷した。（吹田市・スーパー）
- ・フライヤーにて揚げ物の加工中、地震により油がはね、右腕、左足首、膝を火傷した。（茨木市・スーパー）
- ・フライヤー前を通行中、地震の揺れで油がはね、両ふくらはぎと両足首を火傷した。（吹田市・コンビニ）
- ・食堂スーパーカー前にて、地震発生時に停電し、危険を感じ中腰になった。次のゆれが来た時に、味噌汁があふれ、腕にかかって火傷した。（豊中市・その他の事業）
- ・地震が発生したので、回転釜の火を消すため回転釜の側に行った時、次の地震の揺れで釜内の熱湯が飛び出し、右足にかかり火傷した。（豊中市・その他の事業）

## 災害事例（崩壊・倒壊）休業4日以上

- ・清掃作業中、地震が発生し、その揺れで棚が倒れ、左足に接触した。（吹田市・ビルメンテナンス業）
- ・営業所内にて、地震が発生し、書類を入れていた鉄製の棚が倒れ、左肩にあたった。（吹田市・卸売業）
- ・更衣室内で、更衣室ロッカーが倒れてきたため、避けようと逃げた時、腰を負傷した。（茨木市・倉庫業）



## 災害事例（飛来、落下・転倒）休業4日以上

- ・店舗内で商品を補充していた際に地震が発生し、逃げる時に棚上の商品が落下し、右手人差し指を骨折した。（豊中市・卸売業）
- ・朝食の配膳中に地震が発生し、天井からエアコンカバーが落下し、頭部を直撃した。（茨木市・病院）
- ・地震発生後、現場点検を行ったとき、地震の揺れで外れた床の鉄製の蓋に足を取られ転倒した（吹田市・ビルメンテナンス業）



## 地震その時のポイント（東京消防庁HPより）

## ○ 地震だ！ まず身の安全

- ・ゆれを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ・丈夫なテーブルの下や物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

## ○ 落ち着いて 火の元確認初期消火

- ・火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- ・出火した時は、落ちついて消化する。

